

1 グリーンイノベーションビジョン

NTTデータグループの総力を結集して切り拓く グリーンイノベーション ～脱炭素が実現された未来社会に向けて～

NTTデータは「環境負荷ゼロ」と「経済成長」を同時に実現できる社会を目指して、NTTデータグループとして多岐にわたるICT技術を最大限に活用することで、お客様、業界、ひいては社会全体の脱炭素化を推進する。

気候変動への対応は必須

2020年の日本政府によるカーボンニュートラル宣言や2021年のCOP26を受けて、企業に対する脱炭素化の要請が急激に高まった。

今年4月には東京証券取引所が再編されたが、東証一部のように最上位にあたるプライム市場においては、国際的なフレームワークTCFDに則って気候変動に関する情報を開示することが必須条件となっている。また、国際会計基準を担うIFRS財団が気候変動対応など非財務情報の算定・報告基準を作り始めている。

企業価値の評価においても、気候変動など社会課題への対応が重視される時代に変化していると言える。

NTTグループの環境ビジョン

こうした社会情勢の中で、NTTデータの持ち株会社である日本電信電話（NTT）は、「NTT Green Innovation towards 2040」という環境ビジョンを掲げており、NTTデータもグループの一員としてこのビジョンの実現に取り組んでいる。

このビジョンは、社会課題への取り組みによる企業価値向上及び、「事業活動による環境負荷の削減」と「限界打破のイノベーション創出」を通



株式会社 NTT データ
コーポレート統括本部
グリーンイノベーション推進室
室長 下垣 徹氏

じた「環境負荷ゼロ」と「経済成長」の同時実現を目指している。

具体的には、2030年度までに温室効果ガス（GHG）排出量の80%削減（モバイル、データセンターはカーボンニュートラル）、2040年に全領域でのカーボンニュートラルを目標としている。

グリーンイノベーション 推進室の新設

NTTデータはこうした高い目標に向けた取り組みを加速させるために、2021年10月にグリーンイノベーション推進室を新設した。この組織は自社GHG削減目標の達成、及び排出量削減技術のビジネス展開



図1 グリーンイノベーション推進室のビジョン

によるお客様や社会への貢献という2つのミッションを担っている。

ミッションを実現するために、具体的には5つの施策を柱として進めている(図1)。デジタルの発展に伴って今後ますます大規模な電力を必要とするデータセンターにおいて、「データセンターの革新的な省エネの実現」や「再生可能エネルギーの創出」によってNTTデータのGHG排出量を削減する。お客様に向けてはさらに「グリーンコンサルティング」を通じて、多岐にわたる脱炭素化の取り組みを伴走してご支援する。そしてICT業界の脱炭素化を加速するために「排出量基準づくりの牽引」によってソフトウェア開発におけるGHG算定のものさしを確立する。最終的には「社会全体のカーボントレーシングの実現」を通じて、個人や各企業が2050年のカーボンニュートラル実現に向けた行動変容を起こせる基盤づくりを先導する。

本記事ではこれらの施策のうち、「排出量基準づくりの牽引」と「グリーンコンサルティング」について、より具体的にご紹介する。

排出量基準づくりの牽引

ソフトウェア開発においては現在、コストに対して業界平均の係数を掛け合わせるGHG算定方法しか存在しない。そのため、事業規模の縮小以外ではGHG排出量を削減できない状況になっている。

この算定の課題に対して、NTTデータは、グリーンなソフトウェア開発に必要な開発標準や開発ツールの普及展開をミッションとする非営利団

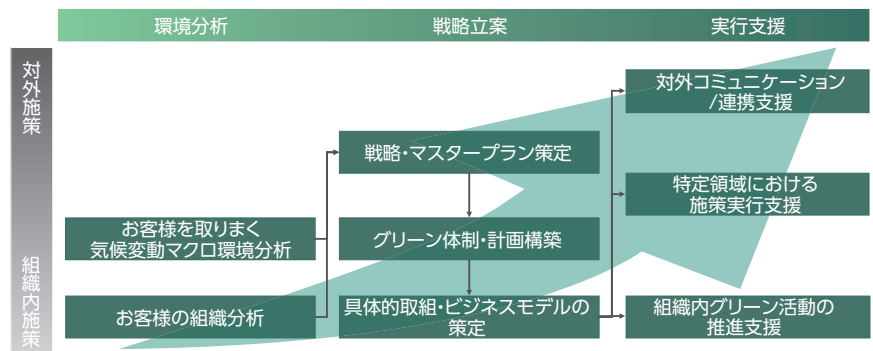


図2 グリーンコンサルティングサービスのメニュー

体 Green Software Foundation (GSF) 新設を受け、2021年9月にアジアで初めてステアリングメンバー(運営メンバー)として参加した。

GSFは2021年12月には、ソフトウェア利用時の電力消費量とハードウェア利用状況からGHG排出量を定量的に評価する「Software Carbon Intensity」(SCI、α版)を発表している。SCIでGHG排出量を定量評価できるようになれば、環境負荷が少ないソフトウェア技術の開発や運用につながる。将来的にはシステム開発のGHG削減基準なども検討して、ICTインフラのグリーン化を推進する。

グリーンコンサルティング

NTTデータは、環境分析や戦略立案から実行支援までお客様に寄り添う包括的なコンサルティングサービスを提供している(図2)。

環境分析や戦略立案を担うコンサルティングファームは存在するものの、NTTデータは実際の排出量削減まで一貫してお客様と伴走することができる。

現在は、削減活動の第一歩目である「GHG排出量の可視化」を特に重要視しており、NTTデータが独

自に定義した5段階の可視化レベルに基づき、お客様のGHG排出量を可視化する仕組みも提供する。可視化作業を自動化するために、クラウドサービスやローコードプラットフォーム、センシングなどのエッジ環境を組み合わせたシステムを構築し、お客様の業務実態に即してGHG排出量を可視化して削減する。

NTTデータグループの総力を結集させて切り拓く

NTTデータはこうしたICT技術を用いた脱炭素化支援をNTTデータグループとして最大限に進めることで、お客様、ICT業界ひいては社会全体の脱炭素化を推進していく。今回は多岐にわたる取り組みのうち、次項から下記の取り組みをご紹介します。

- ・グリーン電力データの情報流通
- ・排出量の金融取引ビジネス
- ・排出量可視化プラットフォーム
- ・データセンターの省エネ/再エネ
- ・海外事業所の脱炭素戦略策定支援
- ・太陽光発電コンサルティング
- ・気象災害リスクの予測/監視